

共創学会第4回年次大会 プログラム

(著者は予稿提出フォームのデータに依拠)

1日目(12/5)

9:30~9:50: 全般説明 & 会長挨拶

10:00~11:40: 口頭セッション1 (セッションID: O-1): 一発表 25分(プレゼン 15分+議論 10分)

座長_ 笹井一人(茨城大学)

O-01	私はあなたをいかに知ろうとするのか/私はあなたを知ってどう変わったのか —アートベース・リサーチ実践からの考察— 仙波梨英子(横浜市立大学都市社会文化研究科)
O-02	地域主体がひらく共創の可能性 —大牟田未来共創センター(ポニポニ)による内在的批判の実践— 山内 泰(大牟田未来共創センター(ポニポニ))、木村 篤信(NTT サービスエボリューション研究所)、原口 悠(大牟田未来共創センター(ポニポニ))
O-03	「むきあう」なかで創造される「健康」 杉本洋(新潟医療福祉大学)
O-04	『たいへんだけど、不幸じゃない たいへんだけど、面白い』 —「家族機能」の社会化に向けたふれジョブの実験— 宮尾 彰(一般社団法人ふれジョブ)、西 幸代(一般社団法人ふれジョブ)、大塚 正之(一般社団法人ふれジョブ)

11:55~13:05: RT セッション1(タイプ1)

(1) セッションID: RT1a : ファシリテータ_大塚正之(早稲田大学)

RT-01	実践とその省察を通して<臨床の知>を共創する試み —土着技術の伝承に向けての計画— 藤井 晴行(東京工業大学)、篠崎 健一(日本大学)
RT-08	失敗に向き合う 金尾 雄二(宗教法人日本同盟基督教団土浦めぐみ教会 障害者総合支援法指定事業所「からしだね」)

RT-11	ファシリテーションスキルの形式知化に向き合う私たちに起きる変化 —介護現場での知識構造化ワークショップを事例に 小早川 真衣子(千葉工業大学)、伊集院 幸輝(産業技術総合研究所)、西村 拓一(産業技術総合研究所)
RT-20	地域の将来ビジョンのための新しいサービス創出に高校生を巻き込むことでどのような影響を得ることができたか 大浦 楓子(東京都立大学大学院 システムデザイン研究科 / 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター)、相野谷 威雄(ヴィー・ディー・エス株式会社)、笠松 慶子(東京都立大学大学院 システムデザイン研究科)

(2)セッション ID: RT1b :ファシリテータ_刑部育子(お茶の水女子大学)

RT-04	箱庭療法における「むきあう」その2 —実験状況における箱庭療法場面の質的分析— 石原 宏(島根大学)、秋本 倫子(東京英和女学院大学)、伊藤 淳子(杏林大学)
RT-12	むきあい 気を感じ つながる —コロナ禍における、びわこバリアフリー剣道クラブの実践から得たことについて— 三苦 保久(滋賀県立瀬田工業高等学校)、東山 明子(大阪商業大学)、山上 良子(びわこバリアフリー剣道クラブ)長谷川豊彦(びわこバリアフリー剣道クラブ)、辻恵美(むれやまキッズ剣道クラブ)、近藤弘菜(立命館大学)
RT-14	共創するファシリテーションのダイナミックレイヤ(3) —ことばからはじまる— 西 洋子(東洋英和女学院大学)
RT-19	介護つき高齢者ホームにおける音楽療法「街角の音楽家」 —その共創の様相 第2報— 生野 里花(お茶の水女子大学 基幹研究院)

13:05~14:15:昼食

14:15~15:55:口頭セッション 2 (セッション ID: O-2) :—発表 25 分(プレゼン 15 分+議論 10 分)

座長_永田鎮也(日本光電工業株式会社)

O-05	実環境での RSSI を用いた人同士の社会的距離(ソーシャルディスタンス)推定の研究 山本 貴志(筑波大学)、山口 友之(筑波大学)
O-06	群れにおける外部(ゆらぎ)が「やってくる」意味 郡司 ペギオ幸夫(早稲田大学)、川井健志(早稲田大学)、箕浦舞(早稲田大学)

O-07	自らの生きた経験を語り直し、物語を再構成する —二人称的他者とのナラティブを通じて「痛み」を受け容れる過程— 今宿 未悠(慶應義塾大学総合政策学部)、諏訪 正樹(慶應義塾大学環境情報学部)
O-08	価値の外部性を呼び込む時間・空間 笹井 一人(茨城大学)

16:10~17:20:RT セッション 2(タイプ 1)

(1)セッション ID: RT2a :ファシリテータ_三輪敬之(早稲田大学名誉教授)

RT-02	保育施設における1歳児の仲間とのパズル遊び —子ども・保育者・モノの共創— 岡南愛梨(お茶の水女子大学大学院・日本学術振興会)
RT-05	箱庭療法における「むきあう」その1 —脳活動計測における検討の試み— 秋本 倫子(東洋英和女学院大学)、石原 宏(島根大学)、伊藤淳子(杏林大学)
RT-16	ミラーシステムの自/他指向性は「どれくらい相手の立場を受け容れられるか」に関わる 申 夔敬(九州大学)、上村 凪(九州大学)、池田 悠稀(九州大学)、樋口 重和(九州大学)
RT-17	重度重複障害のある青年との音楽療法場面の質的分析の試み —二人称的関わりの視点から— 三宅 博子(国立音楽大学)

(2)セッション ID: RT2b :ファシリテータ_諏訪正樹(慶應義塾大学)

RT-06	「クライアントとセラピストは何と向き合い、寄り添っていたのか」 —ボニー式音楽イメージ療法の実践を通しての—考察— 尾形 由貴(東洋英和女学院大学大学院)、吉原 奈美(明治学院大学)
RT-10	「むきあう」を伝える —2箇所フィールドにおける視点— 浅井 忍(草苑保育専門学校)
RT-15	オンラインの協創で生成される学び場 福田 大年(札幌市立大学)
RT-18	Parametric Generation of “Undulating Glazing” Based on Shape Grammar of Orchestral Music Metastasis’s Graphical Notation 恵 添添(東京工業大学)、藤井 晴行(東京工業大学)、Yuval Kahlon(東京工業大学)

(3) セッションID: RT2c :ファシリテータ 藤井晴行(東京工業大学)

RT-03	介護サービスにおけるテクノロジーに対するアクセプタンス	三輪 洋靖(産業技術総合研究所)、渡辺 健太郎(産業技術総合研究所)
RT-07	生活景を見出すための着眼点(あふれ出し・表出)の提案と評価	松本 恵渚(公立はこだて未来大学大学院システム情報科学研究科)、木村 健一(公立はこだて未来大学大学院システム情報科学研究科)
RT-09	保育者は保護者とどのように向き合うか —エピソードの検討を通して—	寺井 奈穂美(大学院東洋英和女学院大学)、西 洋子(東洋英和女学院大学)
RT-13	生活の想像を生む活動のデザイン —回想鳥瞰図を用いた二人称的デザインアプローチ—	小島 千乃(札幌市立大学)、岩井 彩香(札幌市立大学)、高畠 栞(札幌市立大学)、平尾 実唯(札幌市立大学)、横溝 賢(札幌市立大学)

17:35~18:15:総会

2 日目(12/6):

9:30～12:50:招待講演

招待講演者: 佐伯胖(田園調布学園大学大学院)、西村ユミ(東京都立大学)

ディスカッサント: 桑原知子(京都大学名誉教授)、須永剛司(公立ほこだて未来大学)

9:30～10:40:西村ユミ(講演 50 分、議論 20 分)

10:40～10:50:休憩

10:50～12:00:佐伯胖(講演 50 分、議論 20 分)

12:00～12:10:休憩

12:10～12:20:桑原知子

12:20～12:30:須永剛司

12:30～12:50:議論

12:50～14:00:昼食

14:00～15:10:RT セッション 3(タイプ 1・2 混在)

(1)セッション ID: RT3a(タイプ 1) :ファシリテータ 渡辺富夫(岡山県立大学)

RT-01 実践とその省察を通して〈臨床の知〉を共創する試み —土着技術の伝承に向けての計画—

藤井 晴行(東京工業大学)、篠崎 健一(日本大学)

RT-03 介護サービスにおけるテクノロジーに対するアクセプタンス

三輪 洋靖(産業技術総合研究所)、渡辺 健太郎(産業技術総合研究所)

RT-15 オンラインの協創で生成される学び場

福田 大年(札幌市立大学)

(2)セッション ID: RT3b(タイプ 2) :部屋ホスト_三輪敬之(早稲田大学名誉教授)

RT-02 保育施設における 1 歳児の仲間とのパズル遊び —子ども・保育者・モノの共創—

岡南愛梨(お茶の水女子大学大学院・日本学術振興会)

RT-06	「クライアントとセラピストは何と向き合い、寄り添っていたのか」—ボニー式音楽イメージ療法の実践を通しての一考察— 尾形 由貴(東洋英和女学院大学大学院)、吉原 奈美(明治学院大学)
RT-18	Parametric Generation of “Undulating Glazing” Based on Shape Grammar of Orchestral Music Metastasis’s Graphical Notation 恵 添添(東京工業大学)、藤井 晴行(東京工業大学)、Yuval Kahlon(東京工業大学)
RT-19	介護つき高齢者ホームにおける音楽療法「街角の音楽家」—その共創の様相 第2報— 生野 里花(お茶の水女子大学 基幹研究院)

(3)セッション ID: RT3c(タイプ2) : 部屋ホスト_西洋子(東洋英和女学院大学)

RT-10	「むきあう」を伝える —2 箇所のフィールドにおける視点— 浅井 忍(草苑保育専門学校)
RT-12	むきあい 気を感じ つながる —コロナ禍における、びわこバリアフリー剣道クラブの実践から得たことについて— 三苫 保久(滋賀県立瀬田工業高等学校)、東山 明子(大阪商業大学)、山上 良子(びわこバリアフリー剣道クラブ)長谷川豊彦(びわこバリアフリー剣道クラブ)、辻恵美(むれやまキッズ剣道クラブ)、近藤弘菜(立命館大学)
RT-20	地域の将来ビジョンのための新しいサービス創出に高校生を巻き込むことでどのような影響を得ることができたか 大浦 楓子(東京都立大学大学院 システムデザイン研究科 / 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター)、相野谷 威雄(ヴィー・ディー・エス株式会社)、笠松 慶子(東京都立大学大学院 システムデザイン研究科)

(4)セッション ID: RT3d(タイプ2) : 部屋ホスト_諏訪正樹(慶應義塾大学)

RT-04	箱庭療法における「むきあう」その2 —実験状況における箱庭療法場面の質的分析— 石原 宏(島根大学)、秋本 倫子(東洋英和女学院大学)、伊藤 淳子(杏林大学)
RT-05	箱庭療法における「むきあう」その1 —脳活動計測における検討の試み— 秋本 倫子(東洋英和女学院大学)、石原 宏(島根大学)、伊藤 淳子(杏林大学)
RT-08	失敗に向き合う 金尾 雄二(宗教法人日本同盟基督教団土浦めぐみ教会 障害者総合支援法指定事業所「からしだね」)
RT-13	生活の想像を生む活動のデザイン —回想鳥瞰図を用いた二人称的デザインアプローチ— 小島 千乃(札幌市立大学)、岩井 彩香(札幌市立大学)、高畠 栞(札幌市立大学)、平尾 実唯(札幌市立大学)、横溝 賢(札幌市立大学)
RT-17	重度重複障害のある青年との音楽療法場面の質的分析の試み —二人称的関わりの視点から— 三宅 博子(国立音楽大学)

15:25～17:05:口頭セッション3 (セッションID: O-3):一発表 25分(プレゼン 15分+議論 10分)

座長 岡本誠(公立はこだて未来大学)

-
- O-09 満足につながる創造的芸術活動ワークショップ —障害者就労継続支援B型利用者のインタビューを通して—
謝 雪こう(九州大学大学院 芸術工学府)、長津 結一郎(九州大学大学院 芸術工学研究院)
-
- O-10 語らう道具のデザイン —他人以上共同体未満の関係を形づくるデザインアプローチ—
横溝 賢(札幌市立大学)、三河 侑矢(札幌市立大学)、佐藤 あみか(札幌市立大学)佐野 弥詩(札幌市立大学)、中者 睦望(札幌市立大学)、樋口 涼佳子(札幌市立大学)
-
- “ソニックウォークプロジェクト”について
- O-11 古川 聖(東京藝術大学, 先端芸術表現科)、藤井 晴行(東京工業大学, 環境・社会理工学院)、茂木 一司(群馬大学, 美術教育)
自らの「軸」とむきあう —インタラクティブツールを他者とデザインすることを通して—
-
- O-12 堀内隆仁(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科)、諏訪正樹(慶應義塾大学 環境情報学部)
-

17:20～17:35:大会実行委員長挨拶